

大阪 21 世紀の新環境総合計画の点検評価結果 について（環境総合計画部会報告）

1. 開催状況

＜日時・議題＞

令和元年 8 月 16 日 第 1 回部会

- (1) 環境の状況及び講じた施策に係る点検・評価について
- (2) 重点的な点検・評価について 対象分野：健康で安心して暮らせる社会の構築
- (3) 現計画の進捗状況について
- (4) 次期計画の検討にあたって

2. 点検評価結果の概要

評価結果：施策事業は概ね順調に進んでいる。

環境の状況及び講じた施策に係る点検・評価、現行計画の進捗状況について

施策事業等名称	主な指摘・意見	府の回答
地球温暖化・ヒートアイランド対策全般	代替フロンによる排出量が増加しており、府においても対策を強化されたい。	関係部署とも連携しながら進めていきたい。
農業・農空間に関する活動への府民の参加促進	企業、大学等の研究・教育機関、NPO 等との連携の件数を取組指標に加えてはどうか。	目標設定を「新たなおおさか農政アクションプラン」(H29～33) と整合させている。ご提案については、当該プランの目標の見直しの際に、参考にさせていただく。
大気環境	光化学オキシダント対策にシフトしていくほうがよいのではないか。	通常時の排出規制と併せて、光化学スモッグ予報発令等の緊急時には、対象工場に NOx, VOC の削減要請を行うことにより、引き続き対策を進めていく。
健康で安心して暮らせる社会の構築(良好な大気環境を確保するために)	すべての地点で NOx・SPM の基準を満足するという点も踏まえて検討されたい。	大阪府自動車 NOx・PM 総量削減計画(第 3 次)に基づき、全ての地点で NO2・SPM の環境基準を達成または維持していくため、引き続き関係機関と連携し、様々な沿道対策を進めていく。

(参考) 現行の環境総合計画の分野構成について



目指すべき将来像

府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市